

各位

上場会社名 横浜丸魚株式会社
 代表者 代表取締役社長 岩瀬 一雄
 (コード番号 8045)
 問合せ先責任者 常務取締役 芦澤 豊
 (TEL 045-459-2921)

特別利益の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ

この度、下記の特別利益の発生とともに、最近の業績動向を踏まえ、平成21年10月30日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成22年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	75,000	50	200	50	7.56
今回発表予想(B)	71,043	△75	117	118	17.99
増減額(B-A)	△3,957	△125	△83	68	
増減率(%)	△5.3	—	△41.5	136.0	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	79,642	△175	146	△56	△8.42

平成22年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	45,000	10	150	50	7.56
今回発表予想(B)	43,237	△9	172	90	13.76
増減額(B-A)	△1,763	△19	22	40	
増減率(%)	△3.9	—	14.7	80.0	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	47,653	△108	115	42	6.35

修正の理由

1. 特別利益の発生

平成22年3月期第4四半期会計期間におきまして、売上債権の減少等による貸倒引当金戻入益205百万円(連結)及び投資有価証券売却益129百万円(連結・単体)を計上いたしました。

なお、投資有価証券売却益につきましては、平成21年10月30日付に公表した業績予想に織り込み済みであります。

2. 業績予想の修正

平成22年3月期通期におきましては、景気の低迷による個人所得の減少や雇用環境の悪化から、個人消費の低迷や低価格志向が依然として続く厳しい環境で推移しました。

当社グループの中核事業である水産物卸売事業におきましては、商品全般の単価安や市場外流通の拡大の影響から、売上高が58,100百万円(前期比△9.7%、6,213百万円減)となり、水産物販売事業におきましても同様の理由から売上高が12,649百万円(前期比△15.8%、2,375百万円減)となり前回予想を下回る見込みであります。

当社グループ全体で売上総利益の改善と経費節減に努めた結果、昨年度と比較して業績は改善したものの、売上高の減少に伴う売上総利益の減少をカバーしきれず、営業損失75百万円(前期営業損失175百万円)、経常利益117百万円(前期比△19.5%、28百万円減)と共に前回予想を下回る見込みであります。

当期純利益におきましては、売上債権の減少等により貸倒引当金戻入益205百万円を特別利益に計上したことに加え、118百万円(前期当期純損失56百万円)となり前回予想を上回る見込みであります。

個別業績予想につきましても、連結業績予想と同様の理由により修正しております。

※本資料に記載されている業績予想等は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上